

「芯の通った学校組織」推進プラン
第3ステージに向けて

令和2年1月22日(水)

大分県教育庁中津教育事務所

新たなステージへの移行における課題

■新学習指導要領全面実施への対応

- ・「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組
- ・カリキュラム・マネジメントの充実
- ・主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善の取組

■大量退職・大量採用による職員構成の変化への対応

■働き方改革の推進

■子ども・家庭が抱える問題の一層の複雑化・多様化



「芯の通った学校組織」 第3ステージへ

大分県長期教育計画（「教育県大分」創造プラン2016）の中間見直し

これまでの学校マネジメントの成果を生かす

でも、同じことをしては教育力が維持できない・・・
「働き方改革」も進めなければならない・・・

「芯の通った学校組織」は第3ステージへ
(令和2～4年度)

子どもの学びのためにパフォーマンスを最大化
学校における働き方改革 × 地域とともにある学校

《改訂ポイント》

1. 学校マネジメントの深化
2. 「チーム学校」の取組継続・発展
3. 学校における働き方改革の推進
4. 「地域とともにある学校」への転換
5. 学校規模に応じた学校マネジメントを検証

第59回大分県小学校校長会研究大会佐伯大会【行政説明】より

「芯の通った学校組織」は第3ステージへ(令和2~4年度)

1. 学校マネジメントの深化

ポイント: 学校評価の4点セットを
カリキュラム・マネジメントに活用

育成を目指す資質・能力と
明確に対応した「学校の教育目標」の設定
→具体的な重点目標・達成指標・重点的取組・取組指標の設定

短期及び年度を跨いだPDCAサイクル → 教育課程への反映

学校内外との共通理解

社会に開かれた教育課程へ

校種間連
携のツール

管理職は「家庭・地域との協働」を含めマネジメント

第2ステージ「学校評価の4点セット」例

学校の教育目標： _____

重点目標	達成指標	取組指標 (誰が、何を、どのくらいの頻度で)			
		重点的取組	学校	家庭	地域
喫煙の課題①	○	学校	○	○	○
		家庭	○	○	○
		地域	○	○	○
喫煙の課題②	○	学校	○	○	○
		家庭	○	○	○
		地域	○	○	○
喫煙の課題③	○	学校	○	○	○
		家庭	○	○	○
		地域	○	○	○

学校全体が育感を目指す資質・能力…

重点目標を資質・能力を支える
3本柱で組み替え

第3ステージ「学校評価の4点セット」例

学校の教育目標： _____

育感を目指す資質・能力： _____

重点目標	達成指標	取組指標 (誰が、何を、どのくらいの頻度で)			
		重点的取組	学校	家庭	地域
【育感を目指す資質・能力】	○	学校	○	○	○
		家庭	○	○	○
		地域	○	○	○
【育感を目指す資質・能力】	○	学校	○	○	○
		家庭	○	○	○
		地域	○	○	○
【育感を目指す資質・能力】	○	学校	○	○	○
		家庭	○	○	○
		地域	○	○	○

【育感を目指す資質・能力】
【育感を目指す資質・能力】
【育感を目指す資質・能力】

見直し【例1】

現行の教育目標を見直すことで育成を目指す資質・能力を考える

※現行の学校の教育目標が「知」「徳」「体」で構成されている場合

学校の教育目標(現行)

豊かな心と確かな学力を身に付けた心身ともに健康な子どもの育成



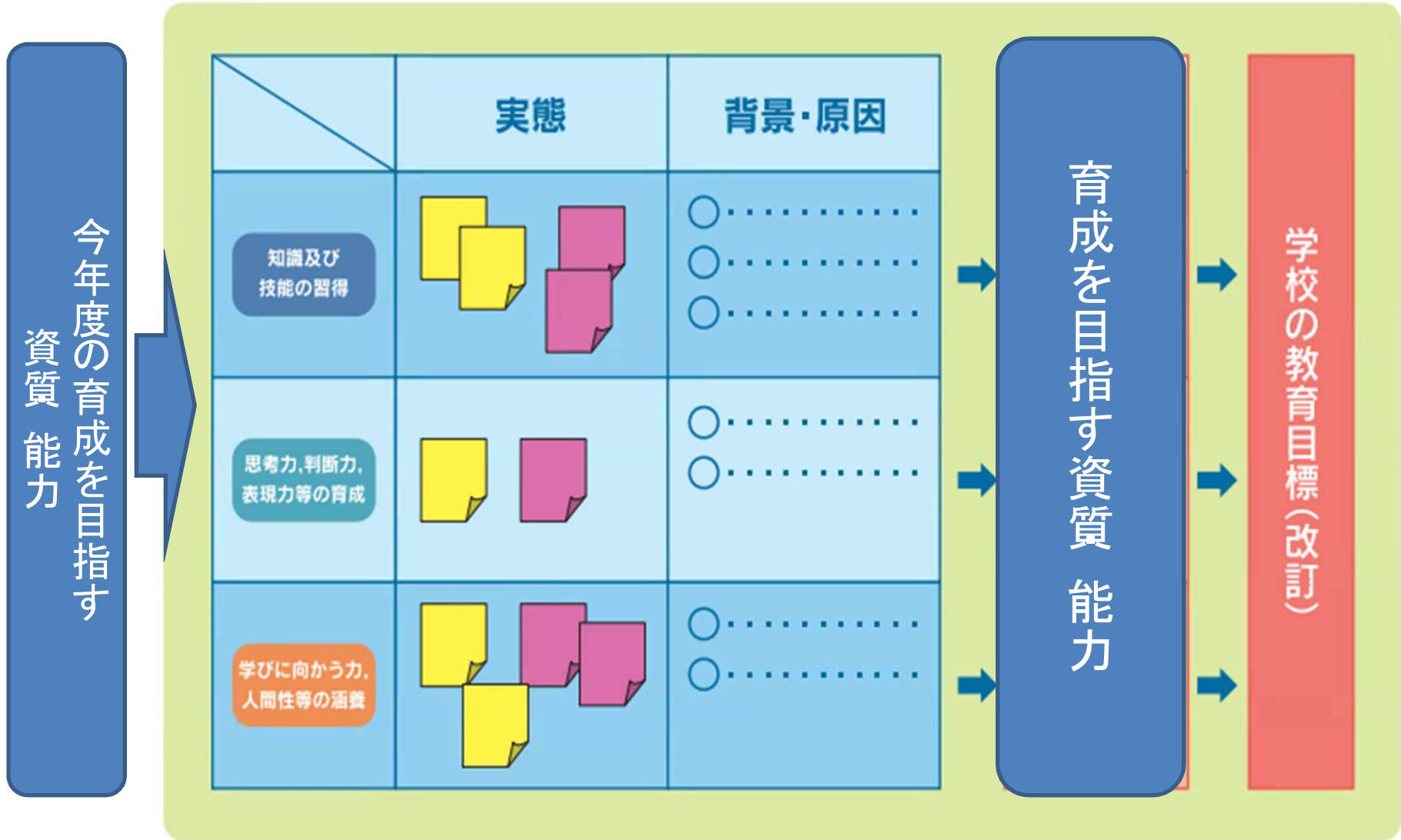
	知 (主に各教科)	徳 (主に道徳)	体 (主に保健体育)
知識及び技能の習得	基礎的・基本的な内容の理解	A	運動の楽しさへの理解や基本的な運動技能
思考力,判断力,表現力等の育成	自分の考えと他者の考えを比較し,考えを広げ深める力	多様な価値観を認め,多面的に考えようとする力	B
学びに向かう力,人間性等の涵養	興味のあることや疑問点を進んで質問しようとする態度	きまりを守り,思いやりをもって他者と関わろうとする態度	健康・安全な生活を目指し,進んで運動に親しもうとする態度

今年度の育成を目指す
資質能力

育成を目指す資質能力

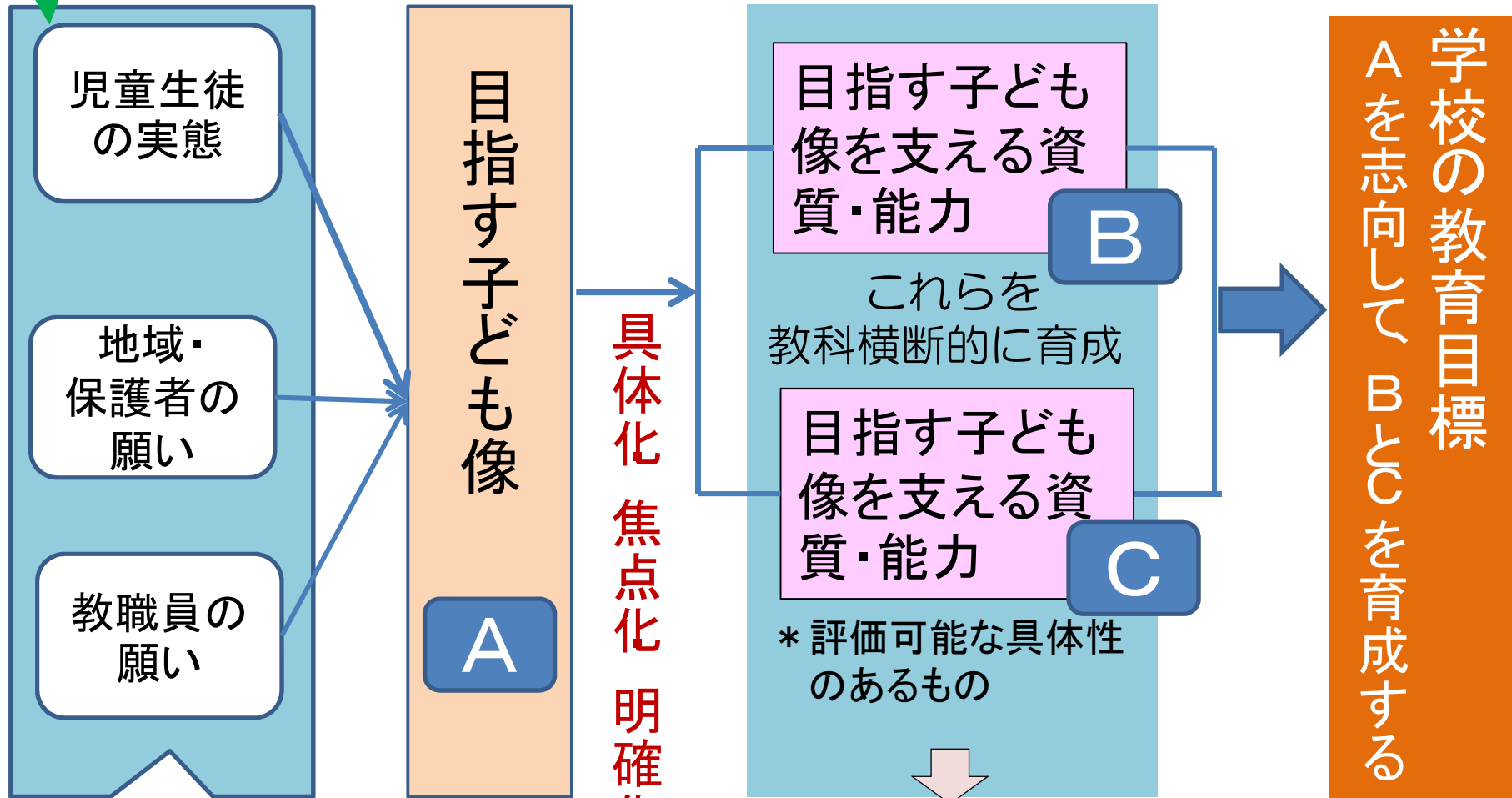
学校の教育目標(改訂)

見直し【例2】 子どもの実態や教師の願いから育成を目指す資質・能力を考える



見直し【例3】

学校教育目標設定方法イメージ



【学校経営の進捗状況】
各種調査・アンケート結果
前年度の学校評価結果
学校運営協議会等の意見
教職員の意見交換等

カリキュラム・マネジメントの柱

各教科等で育成を目指す資質・能力との関連
各教科等の学習過程との関連
各教科等の学習テーマや教材・人材との関連

見直し【例4】

別紙資料2

今年度の学校全体で育成を目指す資質・能力

3つの柱	知		徳		体	
	実態	育成を目指す資質・能力	実態	育成を目指す資質・能力	実態	育成を目指す資質・能力
得「生きて働く技能」の習						
力「未知の状況にも対応できる」の育成						
の向か学びを人生や社会に生かそうとする「人間性等」						

来年度育成を目指す資質・能力（一つまたは二つ程度）

学校の教育目標

〇〇小学校の実態把握と育成を目指す資質・能力の考え方(例)

今年度の資質・能力	三つの柱	知		徳		体		来年度の資質・能力	学校の教育目標
		実態	育成を目指す資質・能力	実態	育成を目指す資質・能力	実態	育成を目指す資質・能力		
言語能力	得「生き識て及働びく技能」の習	○単元テストは85%以上の児童が目標値達成 ○既習事項を働かせて考える子が90%以上 ▲補充学習、家庭学習が不十分 ▲学習規律に学年による差がある	自己理解能力	○重点内容項目についての価値理解は向上 ○気持ちよいあいさつはできる		○体力テストで30/48項目で全国平均を超えている ▲虫歯本数が平均2本を超えている ▲不規則な生活時間の児童が20%いる	健康・安全・食に関する力	多面的、総合的に考える力・言語能力	言葉によってつながり、様々な視点から物事を捉え解決していく 児童の育成
	力き未・る知表「の現思状力考等力」にも判対育断成で	○文章や発話によって表現できる児童が65%以上 ▲情報を多面的多角的に精査することが苦手な児童30%程度	多面的、総合的に考える力	▲感情や想像を言葉に表すことが苦手な児童が多い ▲言葉を通して伝え合う力が弱い	言語能力	▲チームの弱点やそれに対する克服策を考えることが苦手な児童が多い	多面的、総合的に考える力		
	の向か学涵かそび養うを力と人、す生るや人間「社会性等び」に生	○集団としての考えを発展・深化させることができている ▲社会や文化を創造しようとする態度は身につけていない	多面的、総合的に考える力	▲自問そうじがマンネリ化し、主体的な課題発見にいたっていない	問題発見能力	○記録向上をめざし、粘り強くサーキットに取り組む	多面的、総合的に考える力		

○:成果 ▲:課題

今年度の学校全体で育成を目指す資質・能力	3つの柱	育成を目指す資質・能力(例)			来年度育成を目指す資質・能力(一つまたは二つ程度)	学校の教育目標
	「生きて働く技能」の習得	<p style="text-align: center;">学習指導要領総則に明記</p> <p>【教科横断的な視点に立った資質・能力】</p> <p>○学習の基盤となる資質・能力</p> <p>ア 言語能力</p> <p>イ 情報活用能力</p> <p>ウ 問題発見・解決能力</p> <p>※下線は「三つの柱」ごとに明文化あり</p> <p>○現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全・食に関する力 ・主権者として求められる力 ・新たな価値を生み出す豊かな創造性 ・グローバル化の中で多様性を尊重するとともに、現在まで受け継がれてきた我が国固有の領土や歴史について理解し、伝統や文化を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力 ・地域や社会における産業の役割を理解し地域創生等に生かす力 ・自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力 ・豊かなスポーツライフを実現する力など <p>※総則小学校P48～、中学校P49～ 〈別紙資料5〉</p>	<p style="text-align: center;">ESD (持続可能な発展のための教育)</p> <p>○持続可能な社会づくりの構成概念</p> <p>I 多様性</p> <p>II 相互性</p> <p>III 有限性</p> <p>IV 公平性</p> <p>V 連携性</p> <p>VI 責任性</p>	<p style="text-align: center;">キャリア教育</p> <p>○人間関係・社会形成能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキル ・チームワーク等 <p>○自己理解・自己管理能力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忍耐力 ・主体的行動 等 <p>○課題対応能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題発見 ・計画立案 ・評価、改善 等 <p>○キャリアプランニング能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶこと、働くことの意義や役割の理解 ・多様性の理解等 <p>※「キャリア教育にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書」 一国立教育政策研究所一 (H23.3月) 〈別紙資料7〉</p>		
	未知の状況にも対応でき 未知の状況にも対応でき 未知の状況にも対応でき	<p>ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度(例)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 批判的に考える力 ② 未来像を予測して計画を立てる力 ③ 多面的、総合的に考える力 ④ コミュニケーションを行う力 <p>⑤ 他者と協力する態度</p> <p>⑥ つながりを尊重する態度</p> <p>⑦ 進んで参加する態度</p> <p>※「ESDの学習指導過程を構想し展開するために必要な枠組み」 一国立教育政策研究所一 〈別紙資料6〉</p>				

「芯の通った学校組織」は第3ステージへ（令和2～4年度）

3. 学校における働き方改革の推進

ポイント: 「学校評価の4点セット」の重点目標に働き方改革の項目を追加！ **どのような重点目標を立てますか？**

効率的な学校運営に向けた会議の持ち方・校務分掌・行事の**見直し**

組織的な指導・運営による**部活動改革**

ICTを活用した業務改善 ← 校務支援システムの導入

4. 地域とともにある学校への転換

家庭・地域と、学校の教育目標と「学校評価の4点セット」を共有

目標達成に向けた**学校運営協議会**の活用

※会議の開催が目的ではなく、「活動」の効果的な実施が目的となる会に

行事の精選・見直し。**学校・家庭・地域の負担軽減、役割分担の見直し**

年間スケジュール（例）

※目標協働達成チーム会議を年間3～6回開催する場合

	家庭	学校	地域	
3 学期	PTA役員会 1年間の取組の検証・総括	運営委員会 1年間の取組の検証・総括	自治会役員会等 1年間の取組の検証・総括	
	目標協働達成チーム会議〈2～3月〉			
	熟議 内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1年間の取組の検証・総括 ◆ 次年度の年間活動計画案（行事等の精選・見直し、役割分担の見直し含む） ◆ 次年度の「学校評価の4点セット」案 		
1 学期	PTA役員会 新体制で重点的取組を確認	運営委員会 新体制で重点的取組を確認	自治会役員会等 新体制で重点的取組を確認	
	目標協働達成チーム会議〈4～5月〉			
	熟議 内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 育成を目指す子ども像と資質・能力の確認 ◆ 「学校評価の4点セット」の確認・修正 ◆ 年間活動計画・活動内容の確認・修正 ◆ 各取組の進捗管理、検証・改善 		
	各家庭への周知 取組の実践		連絡・調整	取組の実践
	各家庭への周知 取組の実践		連絡・調整	地域への周知 取組の実践
〈学校公開・授業参観〉学級懇談等の場において各家庭での取組 や目標の達成状況、学級独自の課題について検証し取組を検討。				
PTA役員会 1学期の取組の検証・総括	運営委員会 1学期の取組の検証・総括	自治会役員会等 1学期の取組の検証・総括		
目標協働達成チーム会議〈7～8月〉				
熟議 内容	◆ 各取組の進捗管理、検証・改善			

2学期も「チーム会議 → 周知・実践 → 各組織内での検証・総括 → チーム会議」のサイクルを継続していきます。

POINT④校内の検証・改善サイクルと学校運営協議会の開催時期・熟議内容の連動と年度末までの「学校評価の4点セット」案の策定が重要（「検証・改善サイクル」のPOINT欄参照）また、家庭や地域全体の取組として展開していくためには、家庭や地域の各組織内で積極的な周知と徹底の働きかけを行うことも重要

来年度「学校の教育目標」の設定スケジュール

	1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
学校			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度「学校の教育目標」の総括 ・来年度「学校の教育目標」(一次案)作成 		学校運営協議会等(学力向上会議等)で「学校の教育目標(案)」設定について だの説明と進捗状況を報告し、意見をいた		「学校の教育目標(案)」の文言について協議し、学校案をまとめる		来年度「学校の教育目標(案)」を決定し、保護者・地域と共有
保護者								PTA等で学校の最終案をもとに協議	
地域									
事務所 各市教育委員会			管内課長会議 【1/29】	「学校マネジメント相談窓口」の活用 ※市教委を通して事務所と日程調整				「学校評価の4点セット」提出 ・今年度総括分	